

交通安全のポイント

令和4年2月22日
福島県警察本部

1 人身交通事故発生状況（2月21日現在）※（ ）は前年同期比

発生件数	死者数	高齢者	けが人数
367件 (-71件)	7人 (+4人)	6人 (+4人)	420人 (-68人)

2 重大交通事故の発生状況（2月21日現在）

○ 死亡事故が7件発生し、この事故で7人が亡くなりました。

～ 交通死亡事故の特徴～

- ★ 7人中6人が**高齢者**
- ★ 7人中4人が**歩行者被害**
- ★ 7件中5件が**薄暮時・夜間**に発生

○ 今年的人身交通事故は、昨年同時期に比べて減少していますが、その内訳を見ると、死亡事故・重傷事故の割合は増加しています。

	R4	R3	前年比
死傷者数	427人	491人	(-64人)
うち死者数	7人	3人	(+4人)
うち重傷者数	56人	44人	(+12人)

3 シートベルト着用率調査結果について

令和3年10月から12月にかけて、警察庁とJAFが合同で、全国一斉に実施したシートベルト着用率の調査結果が公表されました。本県においては、

- 一般道路
運転席 99.2% (前年比 +0.3ポイント、全国平均 99.1%)
助手席 **96.4%** (前年比 **-1.3**ポイント、全国平均 **96.7%**)
後部席 45.0% (前年比 **-3.8**ポイント、全国平均 42.9%)
- 高速道路
運転席 99.9% (前年比 ±0.0ポイント、全国平均 99.6%)
助手席 99.6% (前年比 +0.5ポイント、全国平均 98.9%)
後部席 85.6% (前年比 +4.4ポイント、全国平均 75.7%)

となっており、殆どの座席で全国平均を上回っているものの、**一般道路での着用率が低下**しています。

4 県内における交通事故の際のシートベルト着用状況（令和3年中の四輪車乗車中の方）

- 亡くなった方 20人中 着用者10人 (**着用率50.0%**)
- 重傷の方 165人中 着用者144人 (着用率87.3%)
- 軽傷の方 2,514人中 着用者2,428人 (着用率96.6%)

となっています。

傷害の程度が重いほどシートベルト着用率が低く、亡くなった方の着用率は、50.0%となっています。

シートベルト非着用で亡くなった方10人のうち8人は、シートベルトを着用していれば被害軽減効果があったと思われます。

★交通安全のポイント★

～ドライバーの皆様へ～

みなさんは運転するとき、どんなことに注意を払っていますか？
ちょっとした油断や「大丈夫」という思い込みが、交通事故のもとです！

- ① 横断歩道に横断者がいるときは、**必ず一時停止**しなければなりません。
また、通過する際は、速度を落とし、**横断者がいないことを必ず確認**して進行しましょう。
- ② 車に乗るときは、**運転手だけでなく、車に乗る人全員がシートベルトを着用**しましょう。
シートベルトを締めていることで守られる命があります。
- ③ 夜間は、ライトのこまめな上下切替えをするほか、**夜間は昼間よりも速度を抑えて**、周囲に注意を向けて進行しましょう。

～歩行者・自転車利用者の皆様へ～

停止している車の間を横断したり、道路を斜めに横断したりしていませんか？
こうした危険な道路の横断は、重大事故に繋がる可能性が高くなります！

- ① 近くに横断歩道があるときは横断歩道を横断しましょう。
横断するときは、手を上げるなど運転者に道路を横断する意思を伝えましょう。
また、**車が停止したのを確認**してから横断し、**横断中も油断せず、左右の安全確認**をしましょう。
- ② 夜光反射材を必ず着用しましょう！
外出する際は、なるべく明るいうちに用事をすませ、夜間に外出する際は**夜光反射材を身につけ、運転手に早く気づいてもらうことが重要です！**

～自分の安全は自分で守る！～

「交通安全 ふくしま 5つ星作戦」を推進中です！



交通安全ふくしま
5つ星作戦

★高齢者の交通事故防止 ★薄暮時・夜間の交通事故防止

★交差点における事故防止 ★横断歩行者の保護

★シートベルト・チャイルドシート着用の徹底